

平成25年2月1日

周南市長 木村 健一郎 様

徳山地区地域審議会

会長 有馬 俊 雅



新市建設計画の進捗状況について（答申）

平成23年10月21日付け周企第258号で諮問のあった「新市建設計画の進捗状況」について、別紙のとおり答申します。

1. 新市建設計画の進捗状況

地域審議会の主な所掌事務の1つが、新市建設計画に関する事項について協議することとなっており、徳山地区地域審議会では、第1期から第5期までの10年間、同計画の進捗状況に関する協議を継続して行ってきた。

第5期は地域審議会の最終期となるため、10年間の総まとめとして、同計画掲載の全ての事業を整理し、計画の進捗状況やこれまでの取り組みに対する評価について協議した。

当審議会での多角的な議論によりまとめた評価を、これからの本市のまちづくりの参考とされたい。

～ ハード事業について ～

【はじめに】

徳山地区に関係する新市建設計画主要ハード事業は、全部で85事業あるが、そのうち約9割は完了ならびに実施中の事業で、概ね計画通り事業が実施されていると判断できる。

とりわけ、「消防緊急通信指令システム」や「高規格救急車の適正配置」等の消防事業、「河川改修事業」や「危険ため池整備事業」など、同計画の安心・安全の分野において多くの事業が完了もしくは実施中となっており、当審議会への諮問事項の「市民の安心・安全の確保」の視点において、重点的に実施されている点は高く評価できる。

【評価】

現時点で未実施が8事業あるものの、合併後10年が経過しようとしている今日、計画策定時と市を取り巻く状況も変化しており、市民ニーズに即してみても、未実施事業全てを実施する必要性は低くなっている。

そこで、当審議会では、現在の市の財政状況を考慮した上で、未実施の8事業を「実施の必要性が高い事業」と「実施の必要性が低いまたは必要性を再検討すべき事業」とに仕分けた。

当審議会にて「実施の必要性が高い」とした2事業は、今後の周南市の発展には欠かせない事業であり、費用対効果が十分に見込まれると判断したので、今後も継続して事業実現に向け積極的な取り組みをされたい。

なお、仕分けの結果は次ページのとおりである。

【「必要性が高い」と判定された事業】

◆ 事業名：徳山下松港港湾整備事業

事業内容：徳山下松港徳山地区において約 26.3ha の工業用地を確保する海面埋立事業

評 価

国際的な物流拠点としての機能が高まることで徳山地区の活性化が見込めるため、環境が整い次第、必ず実施すべき重要事業と考える。

◆ 事業名：周南道路整備事業

事業内容：周南市から光市・田布施町に至る約 30km における地域高規格道路の整備

評 価

路線は未定であるが、徳山地区の活性化に資する重要な事業であるため、「徳山下松港港湾整備事業」と連携し、今後も実施の実現に向けて、関係機関への要望を継続されたい。

【「必要性が低い」または「必要性を再検討すべき」と判定された事業】

◆ 事業名：新たな交流拠点施設整備事業

事業内容：産学官や企業間連携を促進し、産業の高度化や新事業の創出を図るための拠点整備

評 価

施設整備による産業の高度化、新産業の創出は見込めないため、本市単独での事業実施の必要性は低く、今後、新たな施設整備は不要と考える。

◆ 事業名：合併記念公園化事業

事業内容：合併による市民の一体感と新市の将来を展望できるシンボリックな施設（公園）の整備

評 価

合併のシンボルは必要だが、現下の厳しい財政状況を考慮すると、4地区に新たな公園を整備するのではなく、既存の公園がより市民に愛される場となるような整備を期待する。

◆ **事業名：ポケットパーク整備事業**

事業内容：主要道路や沿道における道路空間を利用して、歩行者の憩いの場の創出のため、緑化修景、ポケットパーク等の整備

評 価

維持管理の負担増を考えると、新たなポケットパーク整備の必要性は低いと考える。

◆ **事業名：中須小学校校舎・屋体建設事業**

事業内容：老朽化した校舎や屋体の改築による教育環境の整備

評 価

学校の再編整備計画に基づき実施すべき事業であり、安全確保の観点で耐震改修は必要であるが、小学校以外の施設としての利活用の可能性があるか検討の上整備すべきと考える。

◆ **事業名：交通安全センター建替え事業**

事業内容：周南緑地公園にある現在の施設の建替え

評 価

交通安全教育の拠点ではあるが、利用者が限られているため、新たに建替える必要はない。

しかしながら、依然として交通事故は減少しないことから、交通安全教育の促進のため、当施設は重要な役割を果たしているため、周南緑地の全体計画の見直しの中で、より多くの人々が利用できるようソフト面での充実を図られたい。

◆ **事業名：大津島（馬島）漁港環境整備**

事業内容：馬島地区の漁港の一部を漁港環境整備用地とし公園を建設

評 価

公園整備による島の活性化効果は限定的であり、隣接公園がすでに役割を果たしているため、新たな公園整備の必要性は低いが、大津島への観光客誘致のための別の視点での環境整備は必要と考える。

～ ソフト事業について ～

【はじめに】

新市建設計画掲載のソフト事業は50事業あるが、ほぼ全ての事業が実施されている。

多くの事業が、全市的にきめ細かく実施されており、当審議会への諮問事項である「地域の特色を生かした事業の展開」の視点において、ソフト事業に対する市の取り組みは高く評価できる。

【評価】

ソフト事業は、ほぼ全ての事業が実施されているため、事業に対する評価は「重要度」と「満足度」の2つの視点で行った。

評価の結果は「新市建設計画ソフト事業の評価結果」の通りである。

「重要度」の全体的な評価としては、平均点が3点を下回ったのが3事業のみであったことから、ソフト事業は総じて「重要」と考える。

重要度が低いと評価した3事業のうち、「国際交流事業」や「国際交流（通訳等）ボランティアの登録」の国際交流に関する事業は、事業の見直しや改善を図られたい。

「満足度」の全体的な評価としては、「普通」から「やや満足」という意見に集中しており、今後も、これまでの事業を継続しつつ、更なる改善を図られたい。

満足度評価の中で、「成人や乳幼児、妊婦への健診助成事業」は、多様な健診に対し幅広く助成を行っているため、満足度が高い結果となっており、引き続き、きめの細かい行政サービスの実施を望む。

一方、「資源循環型社会形成事業」「子育てサポート事業」「医療機関の機能分担と連携（相互協力）の促進」「安全な避難場所の適正配置」「地域農林水産業の振興（農林・水産の2事業）」の6事業は、重要度に比べて満足度が低いという評価となった。

これらの事業については、取り組みについて精査・見直しを行った上で、満足度向上へ向けた事業促進を図られたい。

以下、ソフト事業の中でも、特に議論の集中したリーディングプロジェクトについてまとめた。

◆ 事業名：資源循環型社会形成事業

事業内容：ごみの減量化、資源化、再商品化の促進ならびに環境教育の推進
評 価

次の世代へ今の環境を引き継ぐため、当事業は引き続き推進すべきである。

リサイクルプラザが整備され、ハード面での満足度は高いが、ごみの減量化という本来の目的であるソフト面の取り組みには、対策の余地が十分あり、身近な取り組みとして、市民への啓発活動の強化が必要である。

特に、リサイクルプラザ内にある啓発施設「環境館」や市広報、ケーブルテレビなどを積極的に活用し、分別の徹底や環境教育の推進を図ることで、市民の環境に対する意識をより高めていただきたい。

また、協働によるごみ削減へ向け創設された「クリーンリーダー制度」は有効な制度だが、自治会ごとに取り組みのバラつきがあるため、市全体として、統一的な取り組みの徹底を図られたい。

◆ 事業名：子育てサポート事業

事業内容：保育園・幼稚園・子育て支援センター等の有機的連携の確保
子育てカウンセリングの充実、乳幼児医療費助成制度の充実 など
評 価

核家族化の進展や共働き世帯の増加により、今後ますます支援の必要性が高まる分野である。

また、子育てしやすい地域づくりで、流入人口を増やす取り組みは、今後の市の発展にとって重要な施策の1つである。

そのような中で、「地域子育て支援拠点事業」や「ファミリーサポートセンター事業」が充実し、さらには「周南市子ども育成支援対策審議会」の設置など、総合的な子育て支援体制が整備されつつあり、市の取り組みは評価できる。

しかしながら、児童クラブの体制の一本化や、乳幼児以外の子育て世代への支援体制の強化等、改善すべき点がいくつかあり、引き続き積極的な取り組みを進められたい。

◆ 事業名：高齢者いきいき事業

事業内容：高齢者保健福祉の充実、シルバー人材センターの充実 など

評 価

本市の高齢者への取り組みに対する満足度は高く、今後も高齢者人口の増加が予測されるため、引き続き重点的に施策を展開すべき事業である。

しかしながら、現在の高齢者施策は、医療や福祉に関する事業に特化している傾向にあり、十分な精査が必要である。

高齢者がいきいきと暮らせる社会づくりにおいて、大切なのは、自助、共助の意識を醸成することである。

今日、大半の高齢者は以前と比較して非常に元気であり、その元気な高齢者が本事業に直接携わることで、高齢者同士が互いに助け合い、いきいきと自立した生活が送れるような取り組みを期待する。

◆ 事業名：文化・芸術活動支援事業

事業内容：新市芸術祭の開催、文化や芸術に関する企画運営できる人材の育成

評 価

文化会館や美術博物館、郷土美術資料館等のハード面が整備されている点や、「周南文化協会」をはじめとする推進組織も結成されており、市の取り組みには満足している。

しかしながら、人材育成や市民参画の促進というソフト面での支援が弱く、より身近な文化・芸術活動を促進するため、公民館など地域の公共施設も積極的に活用すべきである。

また、多くの活動がいまだに旧2市2町単位で個別に行われているため、規模の小さな活動にとどまっている。

これらの問題点を克服し、よりレベルの高いイベントの開催を期待する。

◆ 事業名：国際交流事業

事業内容：青少年等の海外派遣、姉妹都市縁組による国際交流 など

評 価

近年、海外との距離が短縮した社会背景もあり、海外との付き合いも念頭に入れた環境の整備は大切である。

しかしながら、既存事業である「青少年等の海外派遣」や「姉妹都市縁組」は、今後の事業展開において、効果や経費等の分析をした上で対応されたい。

国際交流事業は国外での取り組みだけでなく、市内での活動でも十分に交流促進を図ることが可能であることから、今後は、地域に密着した事業として、企業や大学・高専等の留学生をはじめとする市内在住の外国人と市民との交流の場づくりなど、身近な視点での事業の拡充を望む。

◆ 事業名：公共交通機関の拡充整備

事業内容：バス路線の維持・拡充、乗合タクシー制度の活用 など

評 価

交通基盤の整備は、市民生活の維持をはじめ、産業、文化交流、防災等、様々な観点から重要である。

また、「ユニバーサルデザインのまちづくり」の視点からも本事業は欠かせない事項である。

しかしながら、不採算なバス路線への支援は、整理することも必要であり、廃止となった路線については、乗合タクシーの制度の導入など、一定のルールや方針を示して対応されたい。

◆ 事業名：市民参加型イベントの創造事業

事業内容：各観光イベントの実施

評 価

本市のイベントの企画は、行政主導で行っている印象が強い。

市民が企画から参加することで、イベントに対する地域住民の思いが高まることから、より魅力あるイベントとするため、市民が企画段階から積極的に参画できる仕組みづくりを望む。

◆ 事業名：地域コミュニティ形成事業

事業内容：全市的なコミュニティ組織の形成など

評 価

地域の支え合いがますます必要になってきており、コミュニティの強化は重要な課題である。

市内全域にコミュニティ推進組織が設置されたことにより、地域によるまちづくり推進体制の基盤が整備されたことは高く評価できる。

しかしながら、自治会連合会や婦人会など、地域コミュニティを形成する組織は他にも多く存在するため、全体的な視点で、各組織の運営体制の強化に対する市の側面的な支援を期待する。

また、これまでの地域活動はイベント中心であったが、今後は、地域住民による自主的かつ多様な活動が展開できるような仕組みづくりを望む。

◆ 事業名：行政サービスシステム構築事業

事業内容：電子自治体システムの整備 など

評 価

「図書館の貸出予約システム」や「電子申請サービス」の整備等により、以前に比べ、行政サービスの活用が容易になった。

しかしながら、公民館や市民館等、市民が普段利用する身近な施設の予約を電子上で行うことが可能になれば、利便性がさらに向上し、事業に対する満足度も高くなる。

アウトソーシング等により民間のノウハウも活用しながら、より効率的な電子自治体システムの運用を図られたい。

2. 今後の徳山地区のまちづくりの方向性について

地域審議会では、これまでの各期において、まちづくり総合計画に沿った形で本市のまちづくりについて協議し、提言を行ってきた。

現在、まちづくりにおいて市が進めている施策は、「周南市まちづくり総合計画後期基本計画」に掲げる7つの分野別計画に基づき展開している。

しかしながら、合併から10年が経とうとしている今日、市を取り巻く状況も大きく変わりつつある中で、合併直後に設定された計画を基に展開されている施策が現在のニーズに即しているか疑問が残る。

そこで、当審議会では、各分野における現在の施策展開について市民の目線に立って協議し、今後の改善もしくは強化が必要と思われる事項について以下に挙げた。

当審議会による、長期的な視点でのまちづくりに対する意見を参考に、市においては持続可能な地域社会の構築に取り組みきたい。

1 教育・文化について

◇ 提言事項：コミュニティ活動の活性化支援

最近のコミュニティ活動は、参加者が以前と比べて減少するとともに、メンバーの世代交代が進んでいない状況にある。

限られた人しか活動に参加しないため、企画を行っても斬新なアイデアが生まれず、活動が惰性化傾向にある。

したがって、少子高齢社会に対応したコミュニティのあり方を研究し、新しいコミュニティ施策の展開を期待する。

特に、中山間地域は、外部からの支援がなければ存続が難しい状況にあるため、中山間地域に外部の人を積極的に受け入れるための施策を広範囲で実施されたい。

II 市民生活について

◇ 提言事項：人権問題の解決に向けた取り組みおよび人権教育の推進

いじめ問題が本市においても深刻化しつつある。

いじめの根底には人権問題が関わっており、人権教育は非常に重要である。

市では各地域で人権教育を行っているが、参加者が非常に少ないことに加え、内容が時代の変化に対応しておらず、対象者も不明確なため、その効果に疑問を感じる。

人権教育は社会的に必要な事業なため、教育内容を十分見直した上で、積極的な啓発活動を行われたい。

III 福祉・保健・医療について

◇ 提言事項：高齢者事業の効率化による福祉の増進

高齢者福祉として様々な事業を行っているが、対象者の数や事業費が他市と比べて明らかに多く、市財政への負担が大きいと思われる。

高齢者支援を効率的に行うためには、自助、共助を醸成促進するような施策の展開が必要と考えるとともに、子育て支援等他分野の福祉事業へのさらなる充実を期待する。

IV 安心安全について

◇ 提言事項：防災意識の高揚

本市は、これまで大規模の災害を経験したことが無いため、市民の災害に対する意識が低く、これは防災イベント等への参加率の低さに如実に表れている。

災害のリスクは低いと考えられても、常に防災意識を持つことは必要不可欠である。

市民の防災意識の高揚には、子どもから高齢者まで全ての世代への適切な防災教育が必要と考える。

現在、子どもへの防災教育は徳山高専等により積極的に行われているが、今後は、高齢者世代への教育の充実も図られたい。

V 環境共生について

◇ 提言事項：ごみ分別啓発ならびにごみ減量化に向けた取り組みの強化

市民がきちんと分別できるような丁寧な対応が必要であり、その対策として、分別啓発のためのPR活動やクリーンリーダー制度の活用の強化が重要と考える。

また、ごみ自体を減らせば、分別の煩わしさから解消されるため、ごみを減らす工夫も必要であり、全国の先進事例となるような、ごみ減量化の画期的な取り組みを期待する。

VI 都市基盤について

VII 産業・観光について

◇ 提言事項：中心部の一体整備（徳山港から動物園まで） 景観意識の見直し

[中心部の一体整備]

港から動物園まで歩いて回れる距離にあるまちは、全国的にも珍しい。

現在、港湾や中心市街地、動物園といった、市の中心部における各拠点での整備が計画されているが、点だけではなく、港から動物園までの一体を面として捉えた一体的な整備が必要である。

それに伴い、賑わいだけではなく、住空間としても住み良いまちとなり、人が集まることで、中心部に拠点を形成できると思われる。

海や山といった自然を生かした形で整備する中で、国・県とも連携しながら、子どもや若い世代も集まるようなまちづくりを進められたい。

[景観意識の見直し]

周南市には景観のよい場所がたくさんあるが、景観計画では、観光の視点での景観づくりに特化しつつあるため、普段、市民が見慣れている場所についても配慮が必要である。

例えば、徳山駅周辺や太華山の山自体の環境など、私たちの普段の生活に根ざした景観を良くすることで、市民の景観意識も高まると思われる。

今後は市民目線での景観形成の取り組みに期待する。

新市建設計画ソフト事業の評価結果

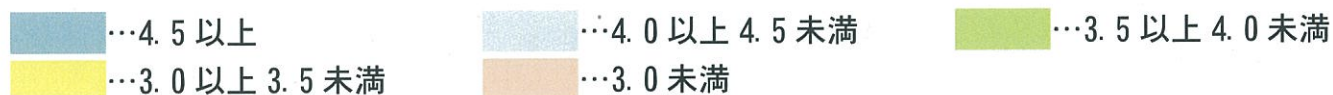
★ソフト事業評価一覧表

○満足度、重要度の評価基準

5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い 0：評価できない

○平均

委員15人の評価基準の平均点。[ただし、0（評価できない）を選んだ委員は除く]



○回答者

0（評価できない）以外の点数を付けた委員の人数

【リーディングプロジェクト NO:1~9】

事業名	平均			
	重要度	回答者	満足度	回答者
1 資源循環型社会形成事業	★★★★★ 4.53	15/15	★★★★ 2.93	15/15
2 子育てサポート事業	★★★★★ 4.57	14/15	★★★★★ 3.54	13/15
3 高齢者いきいき事業	★★★★★ 3.64	14/15	★★★★ 3.00	14/15
4 文化・芸術活動支援事業	★★★★★ 3.50	14/15	★★★★ 3.15	13/15
5 国際交流事業	★★★ 2.62	13/15	★★★★ 3.07	14/15
6 公共交通機関の拡充整備	★★★★★ 3.71	14/15	★★★★ 2.93	14/15
7 市民参加型イベントの創造事業	★★★★★ 3.53	15/15	★★★★ 3.27	15/15
8 地域コミュニティ形成事業	★★★★★ 4.00	13/15	★★★★★ 3.42	12/15
9 行政サービスシステム構築事業	★★★★★ 3.83	12/15	★★★★★ 3.33	12/15

【リーディングプロジェクト以外の事業】

10	新土地利用計画の策定	★★★★★ 3.71	7/15	★★★★★ 3.14	7/15
11	広域交流を活発にする交通ネットワークの整備 (電車、バス、船)	★★★★★ 3.73	11/15	★★★★★ 3.18	11/15
12	市民活動支援機能の充実	★★★★★ 3.75	12/15	★★★★★ 3.50	12/15
13	まちづくり推進組織の設立	★★★★★ 4.00	13/15	★★★★★ 3.42	12/15
14	ボランティアバンクの設置	★★★★★ 3.54	13/15	★★★★★ 3.42	12/15
15	まちづくりコンペの実施	★★★★★ 3.75	8/15	★★★★★ 3.63	8/15
16	人材の育成	★★★★★ 3.89	9/15	★★★★★ 3.78	9/15
17	情報公開・情報提供の推進	★★★★★ 3.56	9/15	★★★★★ 3.11	9/15
18	郷土に伝わる文化財の指定と保存	★★★★★ 4.00	10/15	★★★★★ 3.50	10/15
19	郷土芸能の保存と伝承の支援	★★★★★ 3.92	12/15	★★★★★ 3.45	11/15
20	既存公共施設を活用した活動の推進	★★★★★ 3.92	12/15	★★★★★ 3.58	12/15
21	図書館機能の充実	★★★★★ 3.92	12/15	★★★★★ 3.92	12/15
22	専門的な知識技能をもつ住民の登録と活用	★★★★★ 3.09	11/15	★★★★★ 3.33	9/15
23	学校教育への住民による地域教育の導入	★★★★★ 4.00	12/15	★★★★★ 3.73	11/15
24	スポーツ・レクリエーションの普及を促す人材・組織 の育成	★★★★★ 3.67	12/15	★★★★★ 3.55	11/15
25	各種競技の全国大会やプロスポーツ、日本リーグ 等の開催、誘致	★★★★★ 4.00	12/15	★★★★★ 3.45	11/15
26	案内標識等の外国語併記の推進	★★★★★ 3.21	14/15	★★★★★ 3.00	14/15
27	国際交流(通訳等)ボランティアの登録	★★★★★ 2.80	10/15	★★★★★ 2.71	7/15
28	推進体制の整備確立	★★★★★ 3.69	13/15	★★★★★ 3.08	12/15
29	教育・啓発の推進	★★★★★ 3.69	13/15	★★★★★ 3.25	12/15
30	地域間交流の推進	★★★★★ 3.33	12/15	★★★★★ 3.33	12/15

31	高齢者能力をボランティア活動などに活用	★★★★★ 3.64	14/15	★★★★★ 3.00	14/15
32	老人クラブの育成強化	★★★★★ 3.00	11/15	★★★★★ 3.50	10/15
33	既存公共施設を活用した福祉施設づくり	★★★★★ 3.30	10/15	★★★★★ 3.44	9/15
34	高齢者介護のボランティア・ネットワークづくり	★★★★★ 3.50	10/15	★★★★★ 3.10	10/15
35	子育てサポート事業（妊婦の健診助成制度）	★★★★★ 4.42	12/15	★★★★★ 4.17	12/15
36	青少年健全育成	★★★★★ 4.00	12/15	★★★★★ 3.90	10/15
37	健診ネットワークの充実（成人、乳幼児、妊婦健康診査）	★★★★★ 4.38	13/15	★★★★★ 4.15	13/15
38	医療機関の機能分担と連携（相互協力）の促進	★★★★★ 4.36	11/15	★★★★★ 3.10	10/15
39	休日・夜間診療所の充実	★★★★★ 4.23	13/15	★★★★★ 3.77	13/15
40	安全な避難場所の適正配置	★★★★★ 4.62	13/15	★★★★★ 2.92	13/15
41	防犯灯の設置	★★★★★ 4.21	14/15	★★★★★ 3.27	15/15
42	防犯協議会の体制強化	★★★★★ 3.80	10/15	★★★★★ 3.22	9/15
43	防犯ボランティア活動の支援	★★★★★ 3.36	11/15	★★★★★ 3.50	10/15
44	緑化の推進	★★★★★ 3.57	14/15	★★★★★ 3.57	14/15
45	ISO14001 認証取得へ向けた取組み	★★★★★ 2.71	7/15	★★★★★ 3.67	6/15
46	産学官の連携強化	★★★★★ 4.44	9/15	★★★★★ 3.67	9/15
47	企業連携の促進	★★★★★ 4.38	8/15	★★★★★ 3.88	8/15
48	ベンチャー企業、起業家への支援策の検討	★★★★★ 3.90	10/15	★★★★★ 3.70	10/15
49	地域農林水産業の振興	★★★★★ 4.73	11/15	★★★★★ 3.55	11/15
50	地域農林水産業の振興	★★★★★ 4.67	9/15	★★★★★ 3.56	9/15